

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報

第七十四號

明治三十五年四月九日

和歌山縣

公文

○和歌山縣令第四十四號

炭疽病發生ニ付左記ノ區域ヲ豫防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

●明治三十五年四月九日

和歌山縣知事 椿 基一郎

一那賀郡山崎村大字中野黒木小字西垣内一圓

縣報第七十四號

明治三十五年四月九日

第三種郵便物認可

和歌山縣令第四十五號

炭疽發生ニ付左記ノ區域ヲ豫防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十五年四月九日

和歌山縣知事 椿 慕一 郎

一 那智郡山崎村大字中島小字下中島ノ内

東	山本龜五郎東横小路	以西
西	山本茂兵衛横小路	以東
南	川邊街道	以北
北	津田喜市宅前地通西へ見透以南	

一圓

○和歌山縣令第四十六號

明治三十四年十一月十一日 本縣令第百二號炭疽預防區域中左ノ地域ハ本日限リ解除ス

明治三十五年四月九日

和歌山縣知事 椿 兼一 郎

一海草郡雜賀村大字關戸字甫出道路中甕板橋ノ西及南、湯川松右衛門居宅ノ東及南、
中野久右衛門山崎彌五郎所有竹藪以北一圓

縣報第七十四號

明治三十五年四月九日

第三種郵便物認可

○和歌山縣告示第八十八號

左記ノ考産規則第十條ニ據リ明治三十五年三月三十日ヨリ明治三十六年三月二十九日マ
テ壹ケ年間内産業營業ヲ停止セリ

明治三十五年四月五日

和歌山縣知事 椿 葵 一 郎

伊都郡學文路村大字學文路五百二十八番地

和歌山縣平民產婆

深 ヲ ル ノ

○和歌山縣告示第八十九號

本縣官設穀種検査員左記ノ通リ任命セリ

明治三十五年四月七日

和歌山縣知事 椿 葵 一 郎

記

中村 春 次 郎

右

○和歌山縣告示第九十號

縣下那賀郡山崎村大字中野黒木平野朝次郎飼牛一頭炭疽ニ罹リ本月四日斃死セリ

明治三十五年四月九日

和歌山縣知事 椿 葵 一 郎

○和歌山縣告示第九十一號

縣下那賀郡山崎村大字中島明渡大助飼牛一頭本月三日炭疽ニ罹リ同日斃死セリ

縣報第七十四號

明治三十五年四月九日

第三種郵便物認可

四

明治三十五年四月九日

和歌山縣知事 椿 葵 一 郎

○辭 令

(各 通)

和歌山縣監獄書記兼看守長 高 内 眞 質

給六級俸

全 石 原 大

給七級俸

和歌山縣看守長兼監獄書記 谷 田 岩 之 助

(各 通)

和歌山縣監獄書記兼看守長 朝 倉 俊 雄

給八級俸

全 島 田 兼 助

給九級俸

和歌山縣看守長兼監獄書記 井 口 兵 之 助

給八級俸

和歌山縣日高郡書記 岩 橋 直 治

係願宛本官

和歌山縣日高郡書記 岩 橋 直 治

右四月八日發

○町村助役異動

和歌山縣指令内一六六二號三
 明治三十五年三月十五日東階菅原忠次ヲ伊都郡見好村有給助任 登擧ノ件
 右町村制第五十九條ニ依リ之ヲ認可ス
 明治三十五年四月八日

○観測

明治三十五年四月四日ヨリ三日間當地氣象概況

種目	四月四日	四月五日	四月六日
平均氣壓	七百六十二耗七	七百六十五耗九	七百九十七耗一
平均氣温	十一度七	十一度五	十一度七
最高氣温	十四度八	十六度五	十七度八
最低氣温	八度〇	六度五	三度九
最多風向	西方	北西	四或八南
平均風力	六米四	二米九	四米六
天候	晴天	晴天	晴天
雨量	〇耗〇		

群報第七十四號 明治三十五年四月九日 第三種郵便物認可 五終

記事

記事			
----	--	--	--

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行)
 明治三十五年四月八日印刷
 明治三十五年四月九日發行
 和歌山縣 和歌山郡
 和歌山市十二番丁十三番地
 和歌山市十二番丁十三番地
 和歌山市十二番丁十三番地